

地域コーディネーターの心得 5か条

第1条

ボランティアと先生、子どもたちが、同じ思いをわかちあえる活動となるよう、心がけましょう

ボランティア活動は、一方通行ではありません。一緒に活動をすることで、お互いに学ぶ双方向の活動です。思いをわかちあえる活動になるよう、心がけましょう

第2条

ボランティアと学校の両者が、対等に話し合えるよう工夫しましょう

ボランティアと学校が対等になってはじめて、協働が生まれます。「学校・子どもたちのために」から「学校・子どもたちとともに」となるよう、工夫しましょう。

第3条

次の活動につながるよう、活動後には必ず言葉かけをしましょう

良かったところをほめること、言葉かけをすることは、コーディネーターとしての大切な技術です。アドバイスとともに、忘れずに励まし、勇気づけましょう。

第4条

コーディネートを通じて見えてきた問題は、ボランティアの方にも学校にもきちんと伝えましょう

コーディネーターは、ボランティアと学校の両者の声を聞くことで、問題点や課題に気づくことがあります。よりよい活動にするため、問題点や課題はきちんと両者に伝え、一緒に解決策を考えましょう。

第5条

知り合いを増やしましょう

コーディネーターに大切なのは、何を知っているかよりも誰を知っているかです。いろいろな人と知り合いになり、良い関係をつくっていきましょう。

